

1) ご使用前に必ずお読みください。

この度は「いち・ろく自転車クロスバイクスタイル」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
この「いち・ろく自転車クロスバイクスタイル」には、別冊の「自転車共通取扱説明書」に加え、特殊な機能、注意事項
がございます。あらかじめ、「自転車共通取扱説明書」および、「いち・ろく自転車クロスバイクスタイル専用取扱
説明書」(本冊子)の両方を必ずお読みいただき、内容をご理解いただいた上でご使用いただきます様、よろしくお願
い申し上げます。

2) セット内容…必ずご確認ください。

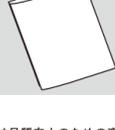
①自転車本体



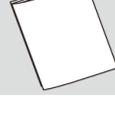
②カギ (2ヶ)



③いち・ろく自転車
クロスバイクスタイル
専用取扱説明書 (本冊子)



④品質保証書付
自転車共通取扱説明書



※ブルーにはサイクルコンピューター、
ピンクにはスポークリフレクターアクセサリが付いています。

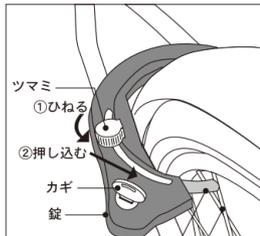
※商品は品質向上のための変更により、
写真・イラストと多少異なる場合があります。
あらかじめご了承ください。

3) 「いち・ろく自転車 クロスバイクスタイル」固有の機能

■錠の取り扱い

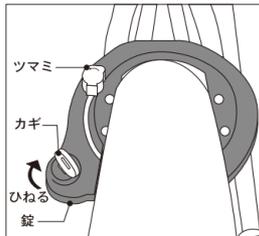
当商品には、後輪にリング型の錠を装備しています。以下の注意をよくお読みの上、安全にご使用ください。

<錠をかける>



- ①ツマミを反時計回りにひねりながら
- ②矢印の方向へ「ガチッ」と音がするまで押し込んでください。
※スポークとかんぬきがあぶつからないようご注意ください。
- ③カギを抜き取り保管してください。

<開錠する>



- ①カギを差し込みます。
- ②時計回りにひねります。
※その際、スポークとかんぬきがぶつかっていないことを確認してください。



錠を乱暴に取り扱わないでください。
錠の形が変わり、正常に錠をかけたり、開けたりすることができなくなってしまいます。



カギはなくさないよう、大切に保管してください。

※万一、カギを紛失した場合は、自転車販売店様までご相談ください。

■変速機の取り扱い

●変速機は、坂道や風向きなどの走行条件の変化に応じてギヤを変え、ペダリングの速さ、踏力を一定にして疲れを少なくする装置です。ボタンとレバーで変速機を動作させ、チェーンをかけ変えてギヤ比を変えます。

●ギヤの切りかえ方 (※切りかえは必ずペダルをこぎながら行なってください)

- ①のシフトボタンを押すと、
ダイヤルの数字が 1→2→3→4→5→6 と変わり、
ペダリングが重くなります。
- ②のシフトレバーを矢印の方向に押し、
ダイヤルの数字が 6→5→4→3→2→1 と変わり、
ペダリングが軽くなります。



●変速機は、坂や風の状態、体調などによって、最適の変速位置を選んでください。



下っている時は、後ろブレーキをかけながら、
スピードが出過ぎないようにコントロールしてください。



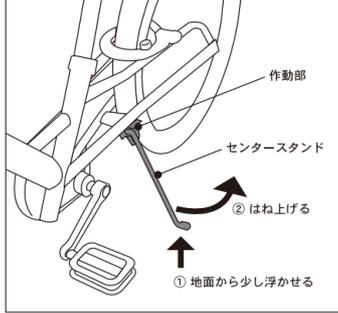
坂の途中では変速しにくいので、
坂の手前で早めに変速操作をしてください。

●操作上の注意

- ・ペダルを止めたまま、または逆回転させながら変速すると変速機・チェーンを痛め、故障の原因になります。
- ・ペダルを強く踏みながら変速したり、一気に変速すると、チェーン・ギヤの寿命が短くなりますので避けてください。
- ・長期間変速機を使用しない場合、シフトワイヤが伸び、円滑にギヤを変えられない場合があります。
自転車店などで定期的な点検・調整をしてください。(有料)
- ・チェーンがよく外れたり、円滑に操作できないときは調整が必要です。調整は必ず自転車店などに依頼してください。(有料)
(変速機は微妙な調整が必要です。むやみに調整ネジを回すとさらに調子が悪くなる場合があります。)
- ・ギヤを必要以上に変えると、チェーンが外れる恐れがあります。

■センタースタンド

●センタースタンドは車体の重心に近い位置にあるため、一般的なスタンドよりも安定しますが、パネは少し硬めにできています。跳ね上げる際はしっかりブレーキをかけ、地面からスタンドを少し浮かせながら、強く跳ね上げてください。



長期間ご使用いただくと、動きが渋くなったり、作
動部から「ギーギー」音がでる場合がありますので、
定期的にグリスを足してください。
※グリスは自転車店等でお買い求めいただけます。



スタンドをかけた状態で、自転車にもたれたり、乗車する等、負荷をかけるとスタンド本体や
自転車が破損、変形し、けがにつながる恐れもありますので、絶対にお止めください。

4) 長くご愛用いただくためのコツ

① 保管場所 ----- 長く、きれいに乗っていただくために

●屋内で保管していただくのがベストですが、やむを得ず屋外に保管される場合は、市販の「サイクルカバー」を
ご使用ください。1週間に一度はカバーを外して中の湿気を取ってください。



錆び易い場所 (雨のかかるところ・海岸付近・浄化槽付近・湿気の多いところ・
工事現場や金属加工場の近く) での保管はお止めください。



こんなことも錆びの原因になってしまいます。 ・ サイクルカバーをかけたままにする。
・ 焚き火の煙がかかる。
・ ジュースなどの飲料水がかかったまま放置する。



直射日光の当たる場所での保管は、変色の原因になってしまいますのでお止めください。

② 簡単にできるメンテナンス

-----1ヶ月に一度程度行うことで、更に快適に、長くお使いいただけます。

●塗装部 (フレーム、チェーンケース) のお手入れ

乾いた布でよく拭き、自動車用のワックスをかけ、乾いた布でよくふき取ってください。



傷がつくと錆び易くなります。乾いた布で汚れをふき取り、「さび止め油」か「機械油」を塗った後、
余分な油をふき取ってください。

●メッキ部 (ハンドル・サドルポスト・スポーク等) のお手入れ

乾いた布で汚れをふき取り、「錆び止め油」か「機械油」を塗った後、余分な油をふき取ってください。



傷がつくと錆び易くなります。乾いた布で汚れをふき取り、「さび止め油」か「機械油」を塗った後、
余分な油をふき取ってください。

●錆び易い場所 (上記①保管場所参照) に置く場合は、お手入れの回数を2週間に一度程度に増やしてください。

●雨など水に濡れたときは、乾いた布で水気をとり、よく乾燥させた後「自転車共通取扱説明書」P10をご参照の上、注油してください。

③ 重大な故障になる前の点検チェック

●ブレーキはきちんと作動しますか?

ご使用を続けていると、ブレーキを操作するワイヤは少しずつ伸びて、ブレーキの効きが悪くなっていきます。
「自転車共通取扱説明書」P6をご参照の上、常にブレーキが効くように調整してください。

故障かな?と思ったら…、トラブルシューティング

※お店にお問い合わせになる前に点検してください。それでも正常に作動しないときは、お買い上げ店様にご相談ください。

症状	チェック項目	判定	対処方法
① 後輪から「キーキー」音がする	お買い上げいただいた直後 (一週間以内のご使用) ですか? → 一週間以内のご使用の場合。 お買い上げいただいた一週間以上使用の場合。 ↓ さらにチェック①	ブレーキワイヤは、一週間程度ご使用いただく間に、少しずつワイヤが伸びていきます。(「初期伸び」と言われる全てのワイヤが持つ性質で、不良ではありません。) プレーキワイヤはあらかじめ少しづつめに引っ張られた状態で製造されており、そのせいで常にブレーキが少しかかった状態になっている可能性があります。	初期伸びをわざと起こさせるため、ブレーキレバーを両手で強く、10 回程度握ってください。改善されない場合は下記のチェック項目へお進みください。
	乾燥した場所に置いてしばらく放置してください。 ↓ さらにチェック①	雨の日や湿度の高い日に、湿気によってブレーキがこすれ、音が発生することがあります。湿気がとれると解消されますので、乾燥した場所に置いてしばらく放置してください。	
	キーキー音がなくなった。 ↓ さらにチェック①		
	キーキー音がなくならない。		お買い上げ店様にご相談ください。
② バンクかな?と思ったら	「バルブ」のねじを確認してください。 [下図]		
	バルブのねじが緩んでいる場合。	緩んだバルブから空気が抜けてしまっただけで、バンクではありません。	バルブのねじを手で時計回りに締めた上で、再度空気を入れてください。
	バルブのねじが緩んでいない場合。 ↓ さらにチェック①		
	タイヤに空気を入れて、一日放置し、空気が抜けていないか確認してください。		
	空気が抜けてしまう場合。	チューブに穴があいてバンクしていると思われます。	自転車店にて修理してください。(お客様の責任によるバンクの場合は有料になります。)

